

東京の大学を知ろう!(V)

～シリーズ:大学について知ろう(その14)～

「東京六大学」って聞いたことありますよね。これは MARCH や日東駒専などの偏差値的に似通ったものを集めた大学群の名称ではなく、日本で最も古い「大学野球のリーグの名称」なのです(2部や3部もなく入替戦もないけど、人気と伝統を誇る大学野球の花形リーグです)。この六大学を現在の偏差値順に並べると、まず唯一の国立大学で泣く子も黙る超高偏差値の(1)大学、前巨人軍監督の高橋由伸の母校(2)大学、群馬県が生んだ甲子園のアイドルスター斎藤佑樹の母校(3)大学、中日・阪神・楽天で監督をした星野仙一の母校(4)大学、あのミスター巨人軍長嶋茂雄の母校(5)大学、そして栃木県が生んだスーパースター江川卓の母校(6)大学となります。しかし、「東京六大学」の中では最低偏差値大学として肩身の狭い思いをしてきた(6)大学が、新首相に就任した菅義偉の母校ということで今とても盛り上がっています。何とんでも自民党総裁選で(2)大学出身の石破茂と、(3)大学出身の岸田文雄を破ったので、OBたちの溜飲が下がったのです。と言うわけで今回は菅首相の就任を祝してその母校を紹介します…。

※上記の()の答… 1. 早稲田大学 2. 慶応義塾大学 3. 明治大学 4. 法政大学 5. 駒澤大学 6. 立教大学

以下の文章は5年前(2015年)に私が法政大学の説明会に行ったときのことを書いたものです。新首相を輩出し、2030年には創立150周年を迎える同大学の雰囲気を感じただけ味わってくださいな。

HOSEI UNIVERSITY 法政大学に行ってきました…

市ヶ谷キャンパスは東京のど真ん中! お得感のある有名私大だ

法政大学には多摩キャンパス(経済、社会など4学部)や小金井キャンパス(理工など3学部)などありますが、今回行ったのは法学部をはじめ8学部が集まる市ヶ谷キャンパス。市ヶ谷駅(または飯田橋駅)から外濠沿いに、27階建てのボアソナード・タワーという名の超高層ビルを目指して10分ほど歩くと到着。日本武道館や東京ドームも徒歩圏内、靖国神社は目と鼻の先という東京のど真ん中にある大学です。

法政大学は1880年に設立された東京法学社が起源で、今年で創立135年という伝統校。20世紀末から国際文化学部(1999)、人間環境学部(1999)、現代福祉学部(2000)、情報科学部(2000)、キャリアデザイン学部(2003)、デザイン工学部(2007)、生命科学部(2008)、グローバル教養学部(2008)、スポーツ健康学部(2009)と次々に新しい学部をつくり、今ではなんと15学部もあるのです(たぶん法政大の学生も全ての学部名を正確には言えないだろう。13学部の早稲田、14学部の日大を抜いて(注:日大はその後2016年に2学部を増設し現在は16学部)、18学部の東海大にせまっているが、東海大はキャンパスが全国に点在しているので、純粋な関東の私大としては最多学部数)。ただし、この経営方針が上手くいって



2000年に竣工された地上27階建てのボアソナード・タワー

いるかどうかは微妙で、実はここ数年で多くの学部の偏差値が明治や立教に水をあけられ、MARCHの中では最下位にランクされてしまっているのです。逆に考えれば、学力トップ層の受験生が受けなくなっているため、「入りやすい有名私大」となり、学習環境や就職状況を考えると「お得感のある大学」なのです。

迷路のような市ヶ谷キャンパスで迷いながらも、有名な学食メニューに舌鼓を打つ



「勝つぞ法政」は500円

さて、市ヶ谷キャンパスに到着した私は外濠校舎から潜入し、ボアソナード・タワーを目指すのですが、新校舎工事中で直進できず、58年館・55年館という名の古めかしい校舎に迷い込みます。1958年・1955年にそれぞれ建てられたこの校舎、裏側には最上階から長いスロープ階段があったり、日本庭園があったりと趣があります。地下に降りてみると、そこには生協があり、その前で可愛い女子学生が先輩を相手に学生ガイドの練習をしています。しばらく彼女たちの近くで聞き耳を立てていると(完全に不審者ですね)、「法政にはミスコンが無いんです。私の周りには可愛い子がたくさんいるのに…」なんていう言葉が聞こえてきます。その後、さらに校舎内を彷徨ったあげく、やっとボアソナード・タワーに到着し、いよいよ昼食です。

今日は何を食べるか決まっています…「勝つぞ法政」です。これは応援団とのコラボメニューで、名前は応援歌からとったもの。そして内容は定期的に変わるのだそうですが、ショーケースによると「ナシゴレンに鶏のチリソース煮」と私には分からないことが書いてあります…でも金券購入! カウンターへ行き金券を置くと、「勝つぞ法政、入りました～」と厨房の熟女その一が大声で叫びトレーの上に味噌汁の碗とフルーツを置きます。奥の方では熟女その二とその三が手際よくプレートにサラダとナシゴレンと鶏のチリソース煮を載せてゆきます。350席ほどある食堂は学生数から考えると狭いのですが(キャンパス内にはここ以外に生協系の食堂3カ所と、トルコ料理の屋台まであったので大丈夫か…)、窓際の座席で実食。ところで、トロリー玉子の載ったナシゴレンって何? チャーハンに似ているが味は全然違うぞ。ともかく、ボリュームが凄い! 味噌汁も合わせ味噌 or 赤だしを自分で選べ(赤だしをチョイス)、大満足のランチとなりました。(注)その後、このとき工事中だった富士見ゲートは2016年秋に完成し、さらに55年館・58年館も取り壊されて2019年3月に「大内山校舎」という最新の校舎に生まれ変わりました。

説明会は都内を一望できる26階のスカイホールで行われ、今回のお土産はまたしてもアレ…

説明会会場のスカイホールはボアソナードタワーの26階で、着席すると正面のガラス越しにスカイツリーが見えます。思わず席を立ち、司会補佐の美人事務職員に壇上から見てもいいかと聞くと、「どうぞ、昨日は夕焼けが綺麗で富士山もよく見えましたよ」と言うので図々しく窓に近づいて見ると、眼下には武道館の屋根も見えます。こうなると他の方角も見なくなった私は、部屋を出て説明会開始前に26階を走り回ったのでした…(完全にお上りさんですね)。走り回った私は疲れ切り、説明会は…zzz。

今回のお土産は昼食前に彷徨っているとき、生協売店で購入済みです。ちゃんと「大学グッズ」コーナーがあり、賞味期限の近い「法政大カステラ」が半額だったので、かさばるので帰りに購入することにして、隣にあった「法政甘栗」(300円)をまずゲット。どうしても法政大カラー(オレンジと青)のマフラータオルに目がいき、720円と安いので汗っかき息子のためにゲット。そして、説明会終了後にもう一度カステラを買おうと行ってみましたが、既に半額のお買い得品はなくなって断念…。

家に帰って土産を見せると、「私、実は甘栗好きなんだ!」とカミさんがいち早く法政甘栗をゲット。息子にマフラータオルを渡すと「どうして僕はいつもコレなの?」と不満そうな口ぶり。これだから反抗期は嫌いだ。お前には賞味期限切れのカステラがお似合いだ!!



「法政甘栗」は300円